

児童発達支援評価表 集計(事業所向け)

配布 7名 回答 7名

事業所名:水沢☆きらり

R2.10

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員とスペースの関係	7		5人定員であるが、一度に5人活動することがないので適切である。活動やその日の利用者によって和室も使用できる状態である。
	2 職員の配置数	7		日により、児童指導員、看護師が欲しい時がある。1対1での対応ができています。
	3 構造化、バリアフリー化、情報伝達の配慮	7		バリアフリーにリフォームされている事業所なので今は問題がない。車いす用のスロープを設置している。
	4 生活空間、活動に合わせた空間	7		毎日、清掃を行い、衛生面には配慮している。季節や行事ごとに壁画を飾り、明るい環境にしている。活動に合わせてバギーやクッションチェアを使用している。
業務改善	5 PDCAサイクルへの職員の参画	7		毎朝の朝礼と月1回の職員会議で常日確認している。職員全員で都度振り返りを行い、改善に努めている。
	6 アンケート調査の業務改善への取組	7		保護者の意向をできるだけ取り入れるよう努力している。今年度開所した事業所であり、今回初めてアンケート調査を行った。今後保護者の意向等を業務改善につなげていく。
	7 評価の公開	7		今回初めてのアンケート調査であり、法人のホームページ等で公開予定。
	8 外部評価の業務改善へのつながり	4	3	内部監査を受け指摘事項はなかったものの改善すべき事項はする準備ができています。外部評価は受けたことがなく、今後の課題である。
	9 研修の機会の確保	7		気が付いたことにはすぐ声を掛け合い、研修には進んで参加するようにしている。リモートでの外部研修、事業所内での内部研修を行っている。
	10 適切なアセスメントによるサービス計画の作成	7		保護者様との話は大事にし、話しやすい環境を作っている。面談等でアセスメントを行い、個別支援計画を作成している。
	11 アセスメントツールの使用	7		研修で得た情報、知識をこの事業所で使えないか話し合い、活用している。アセスメントシートの活用を活用している。
	12 ガイドラインの項目の選択と具体的な支援内容	7		読み合わせをしつつ計画に入れ支援をしている。必要な項目を選択し、具体的に設定されている。

児童発達支援評価表 集計(事業所向け)

配布 7名 回答 7名

事業所名:水沢☆きらり

R2.10

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	13 支援計画に沿った支援	7		個別支援計画一覧を壁に貼り、常に目をとめ支援している。
	14 チームでの活動計画立案	7		月のm担当者が立案したものを職員間で話し合って決定している。
	15 活動計画の工夫	7		常に話し合いを重ねている。 リハビリ、動作法訓練等、固定化しているもの以外は、色々なことが経験できるように工夫している。
	16 個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画	7		自ら動ける人、動けない人がいる為、全員活動参加できるよう作成している。 全体の活動と一人ひとりのリハビリ等を組み合わせて作成している。
	17 支援内容の打ち合わせ	7		毎朝朝礼にて打ち合わせを行い確認している。
	18 支援内容の振り返り	7		利用者送迎後や翌朝、朝礼で振り返りを行い、情報の共有をしている。
	19 記録の徹底	7		本人がどのような様子だったか、記録するように徹底している。ケース記録、日誌等に記録し、会議等で検証、改善につなげている。
	20 定期的なモニタリング	7		6ヶ月ごとにモニタリング、計画の見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携	21 サービス担当者会議への参画	7		管理者、看護師、児発管が利用者に合わせて会議に参加している。
	22 母子保健・子育て支援等との連携	7		連携会議を定期的に開いている。
	23 (医ケアや重心を支援している場合)保険、医療、障害福祉等との連携	7		定期的に連携会議を開いており、必要な時には連絡を取っている。 病院、訪問看護、保健師、保育園等と連携を取りながら支援を行っている。
	24 (医ケアや重心を支援している場合)主治医や医療機関等との連絡体制	7		定期的、または必要時に連絡を取っている。 利用する際に、看護指示書に記入していただいている。水沢病院小児科の医師と連絡体制が整った。
	25 保育所等との情報共有、移行支援	7		医ケアの保育園との併用利用として支援している。 事業所を利用するにあたって、保育園との連携会議を行い協力体制を整えた。
	26 小学校、特別支援学校との情報共有、移行支援	7		来年度入学予定の利用者の様子を支援学校の先生に見学していただき、情報共有を行った。 医ケアの特別支援学校との併用利用として支援している。
	27 専門機関との連携、助言・研修		7	子育て支援センターとは連携はしているが、それ以外はない。
	28 保育所や幼稚園等との交流、障害のない子との活動		7	コロナ禍の状況で今はない。

児童発達支援評価表 集計(事業所向け)

配布 7名 回答 7名

事業所名:水沢☆きらり R2.10

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	29 協議会等への参加	7		地域自立支援協議会、医療的ケア児等支援部会の部会長として管理者が参加している。
	30 状況・課題について保護者さんとの共通理解	7		送迎時、外部の先生が来るときなど、積極的に反試合を持っている。 送迎時等に本日の様子を口頭で伝え保護者様からのお話も聞いている。
	31 ペアレント・トレーニング等の支援	7		ペアトレはやっていないが個別対応の支援はしている。 今年度法人としては行っていない。
保護者等への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等の丁寧な説明	7		契約時に説明を行っている。
	33 ガイドブック、支援計画をしながら説明、保護者からの同意	7		計画書を作成した時に保護者様へ説明、同意を得ている。
	34 助言と支援	7		モニタリング時、その他事業所に来た時に行っている。 嘱託医の先生が月に2回来所し、保護者様の相談に乗っており、職員も情報共有している。
	35 保護者会等の活動や保護者同士の連携への支援	7		支援しているが、今年度はコロナの影響で活動はしていない。 今年度は保護者会の活動は中止となった。
	36 苦情についての対応	7		職員全員に周知し、保護者様の立場に立って考えている。 申し入れがあった場合は、都度迅速に対応できるよう職員間での情報共有、話し合い等を行っていく。
	37 情報の発信	7		毎月1回、お便りを発行している。
	38 個人情報	7		個人ファイルは、鍵付きの書庫に保管している。 常に注意を払うよう心掛けている。
	39 意思の疎通・配慮	7		この子は絶対分かっていると思って接している。 日頃より言葉遣いに配慮して対応している。
	40 地域に開かれた事業運営		7	コロナ禍において今年度は行っていない。
非常時等の	41 職員・保護者へのマニュアル周知と訓練	7		年に4回避難訓練を行っている。その他、マニュアルの読み合わせを行っている。 マニュアルを策定している。保護者様へすぐに伝えられるよう玄関にファイルを用意している。
	42 避難訓練	7		年4回避難訓練を行っている。
	43 服薬、予防接種等の確認	7		母子手帳の確認、保護者様への聞き取りを行っている。 契約時に確認をし、服薬が代わった時など、都度新しい情報を頂いている。
	44 食物アレルギーの対応	7		食物アレルギーの子がいない。 医師の指示書がある場合には、指示書に基づいて支援を行う。

児童発達支援評価表 集計(事業所向け)

配布 7名 回答 7名

事業所名:水沢☆きらり R2.10

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
の 対 応	45	ひやり・はっと	7		報告書を作成し、迅速に職員間で話し合いを行っている。 事例集はないが他事業所と共有している。
	46	虐待防止の研修	7		マニュアルの読み合わせを行ったり、月1回、人権擁護チェックシートを記入して振り返りを行っている。
	47	身体拘束	7	1	身体拘束をするほど動ける利用者がいない。車イスに関しては保護者に同意を得ている。 身体拘束の同意をとっている利用者はいないが、必要に応じて対応していく。